

【安全への備えと季節のうつろい 救急救命研修と台風対策】

水泳学習の開始を前に、消防署から消防士の方をお招きし、教職員を対象とした救急救命研修を実施しました。

研修では、胸骨圧迫や人工呼吸の方法を学び、実際に訓練を行いました。また、AED の使用方法だけでなく、119 番通報から救助活動、周囲の安全確保、保護者への連絡など、事故発生時の職員の役割分担についてもシミュレーションを行いました。

毎年実施している研修ですが、年々内容を見直し、より実際の事故を想定した実践的な訓練へと充実させています。水泳学習は楽しく充実した活動である一方、水の事故は決してあってはなりません。だからこそ、万が一に備えた準備を怠らず、安全を第一に考えて実施してまいります。



【台風が過ぎ、笑顔あふれる学校の日】

昨日は台風の接近により臨時休校となりましたが、本日は子どもたちが元気に登校し、学校にはいつもの活気が戻ってきました。

朝は全校でプール開きを行いました。水泳学習のめあてや約束、安全に学習するために大切なことについて確認するとともに、自分や友達を大切にするためのプライベートゾーンについても学びました。子どもたちは真剣な表情で話を聞いていました。また、今年度の水泳学習が安全に行われるよう願いを込めて、安全の鍵を6年生の代表児童が受け取りました。一人ひとりが約束を守り、楽しく安全な水泳学習にしていきたいと思います。

2年生は、マリノス食育キャラバンに参加しました。ボールを使った運動遊びやサッカーゲームを通して体をたくさん動かし、サッカーの楽しさを味わっていました。友達と協力しながら笑顔いっぱい活動する姿が印象的でした。



また、読み聞かせボランティアの皆様には調整会議を行っていただきました。日程や担当クラスの割り振りなどについて話し合い、今年度の活動に向けた準備を進めてくださいました。本校の読書活動を支えてくださる皆様にご心より感謝申し上げます。今年度も充実した読み聞かせ活動が行われることを、今から楽しみにしています。

【音楽の感動と初めての裁縫 地域に支えられる学び】

今年度最初の「小さな音楽会」を開催しました。今回は、フルートとピアノによる素敵なアンサンブルです。

2時間目には1年生が鑑賞し、中休みには他の学年の子どもたちも会場を訪れ、美しい音色に耳を傾けていました。1年生の中には、フルートを間近で見るのも、その音色を聴くのも初めてという子がたくさんおり、目を輝かせながら演奏を楽しんでいました。

演奏された曲の中でも、映画「塔の上のラプンツェル」の挿入歌「輝く未来」が始まると、自然と歌声が広がり、多くの子どもたちが一緒に口ずさんでいました。音楽を通して心が一つになる、とても温かな時間となりました。

素敵な演奏を届けてくださった演奏者の皆様、そして運営を支えてくださったボランティアの皆様、本当にありがとうございました。今後の小さな音楽会も今から楽しみです。

また、5年生の家庭科では、初めての裁縫学習に取り組みました。玉結びや玉留めに挑戦しましたが、最初は「難しい！」「糸がうまく通らない！」と悪戦苦闘する姿も見られました。

しかし、多くの授業サポートボランティアの皆様丁寧に教えていただきながら、一人ひとりが粘り強く挑戦し、少しずつできるようになっていきました。できた時の嬉しそうな表情がとても印象的でした。



子どもたちの学びは、多くの地域ボランティアの皆様を支えられています。改めて感謝申し上げます。これからも地域とともに、豊かな学びを創っていきたいと思います。

【学校を知る学び、成長を知る学び 1年生と5年生の様子】

1年生の生活科では、学校探検を行いました。子どもたちは探検隊となって校内のさまざまな場所を訪れ、「ここは何をする部屋ですか？」「どんなお仕事をしているのですか？」と先生方にインタビューをしていました。

職員室にも元気な探検隊がやってきました。少し緊張しながらも、しっかりと質問をする姿に感心しました。学校にはたくさんの方が働いていることや、いろいろな部屋があることを知り、子どもたちの世界が少しずつ広がっているようです。

また、5年生は新体力テストの結果をタブレットに入力していました。現在はデジタル化が進み、自分の結果を蓄積して確認できるようになっています。

昨年度の記録と比較することで、「去年より握力が伸びた」「反復横跳びが速くなった」など、自分の体力の変化や成長を実感することができます。結果の良し悪しだけでなく、自分自身の成長を振り返ることができるのも大切な学びです。



学校探検を通して新しい発見をした1年生、自分の成長を確かめた5年生。それぞれが学びの中で、一歩ずつ成長を重ねています。

【6年生スクランブルエッグに挑戦・3年生のお弁当 🍱】

6年生の家庭科では、スクランブルエッグ作りに挑戦しました。

卵を割る場面では、「うまくできるかな」と緊張した表情も見られましたが、一人ひとりが真剣に取り組んでいました。ボランティアの方々にアドバイスをもらいながら、フライパンの温度に気を配ってバターを溶かし、卵を丁寧に混ぜて調理していきます。

火加減や混ぜるタイミングを工夫しながら、見事なふわふわのスクランブルエッグを完成させた児童もあり、「おいしい！」という笑顔がたくさん見られました。調理を通して、生活に役立つ力を少しずつ身に付けています。

また、お昼に体育館をのぞいてみると、3年生がみんなでお弁当を食べていました。

本来は遠足の日でしたが、残念ながら悪天候のため中止となりました。もともと給食の提供がない予定だったため、お家の方に作っていただいたお弁当を、友達と一緒に楽しく味わっていました。

遠足に行けなかったのは残念でしたが、「見て見て！」「おいしいね！」と笑顔でお弁当を囲む時間も、きっと大切な思い出の一つになったことでしょう。

愛情のこもったお弁当をご準備いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。子どもたちの笑顔あふれる昼食の時間となりました。



【想像を広げる学びと、みんなで作る温かな学校】

2年2組の図工では、「たまごから生まれる不思議な生き物」をテーマに、自分だけのストーリーを考えながら絵を描いていました。

クレパスや絵の具を使い、色鮮やかで明るい作品がたくさん並びました。羽の生えた生き物や、宇宙からやってきたような生き物など、子どもたちの豊かな想像力が存分に発揮されていました。一人ひとりの発想の違いが楽しく、見ているだけでわくわくする作品ばかりでした。

2年1組の算数では、竹の物差しを使って長さの学習をしていました。センチメートル(cm)だけでなく、ミリメートル(mm)という新しい単位も使いながら、身の回りの物の長さを丁寧に測っていました。

放課後には代表委員会を行いました。今回の議題は、横浜子ども会議 で話し合われる「いじめ」についてです。

「いじめをなくすためには、どのように過ごしたらよいだろう」「どんな言葉かけが大切だろう」など、代表児童が真剣に意見を出し合いました。自分たちの学校をよりよくしたいという思いが伝わってくる話し合いとなりました。

最後は、言葉を使わずに誕生日順に並ぶゲームに挑戦しました。身振りや表情で伝え合いながら協力する中で、自然と笑顔が生まれ、温かな雰囲気に包まれました。

こうした活動を通して、お互いを理解し合い、安心して過ごせる人間関係や学校づくりにつながっていくことを願っています。



【プールはお休みでも元気いっぱい！ 学びと発見の一日】

今日は1年生にとって楽しみにしていた初めてのプールの日でした。しかし、昨日からの涼しい天候の影響で水温が上がらず、残念ながら中止となりました。

少しがっかりした様子も見られましたが、子どもたちは気持ちを切り替え、それぞれの活動に元気に取り組んでいました。1年1組は、生活科でアサガオの観察を行いました。毎日お世話を続けているアサガオは、葉の数もずいぶん増え、「こんなに大きくなったよ！」「葉っぱが増えてる！」と、嬉しそうに成長の様子を観察していました。

1年2組は校庭で体育を行いました。写真はありませんが、広い校庭を元気いっぱい走り回りながら、やつおに遊びを楽しんでいました。友達と声を掛け合いながら、笑顔いっぱいで体を動かす姿が見られました。

また、4組では校庭で葛が採れたことをきっかけに、葛餅作りに挑戦しました。子どもたちは興味津々で、調理に没頭しました。残念ながら私は途中で出張となり、出来上がった葛餅を食べる様子を見ることはできませんでしたが、果たしておいしくできたのでしょうか。後で感想を聞くのが楽しみです。



【学び続ける教師と育ち続ける子どもたち 校内授業研究会】

本年度第1回目の校内授業研究会を実施しました。教職員が互いの授業を参観し合い、放課後の研究会では成果や課題について活発に意見交換を行いました。

1年1組の生活科では、学校探検で出会った先生方へのインタビューをもとに、調べたことを発表し合いました。子どもたちは楽しそうに発表し、友達の話にも興味をもって耳を傾けていました。その姿からは、学校生活に慣れ、友達や先生との関わりが広がってきていることが伝わってきました。

4年生の音楽では、リコーダー演奏やリズム打ちに取り組みました。3年生の頃と比べると、演奏技術が大きく向上しており、音楽に親しみながら楽しそうに活動する様子が見られました。仲間と音を合わせる喜びも感じられていたようです。

4組では、社会と自立活動の学習を行いました。社会では沖縄と北海道の暮らしや産業を比べ、その違いには気候が大きく関わっていることに気づきました。また、自立活動では「うれしい気持ち」をテーマに、自分の心と向き合いました。友達がうれしいと感じることと自分がうれしいと感じることを比べながら、一人ひとり感じ方が違ってよいことに気づき、多様な考えを認め合う学びとなりました。



【梅雨空の下に響く歌声と願い】

梅雨らしい空模様となった今日の朝は、音楽朝会からスタートしました。

今月の歌は、この季節にぴったりの「あめふりすいぞくかん」です。全校児童の元気な歌声が体育館いっぱいに響き、雨の日ならではの楽しい雰囲気になりました。

その後、来週行われる国際平和スピーチコンテストに学校代表として出場する6年生がスピーチを発表しました。テーマはジェンダーの問題についてです。自分自身の経験と重ね合わせながら、「一人ひとりの違いを認め合うことの大切さ」について、自分の言葉でしっかりと意見を述べていました。

聞いている子どもたちも真剣な表情で耳を傾けており、大変立派な発表でした。来週は学校代表として金沢区のスピーチコンテストに参加します。これまでの練習の成果を発揮し、自信をもって発表してほしいと思います。

また、郷土資料館ボランティアの皆様が、七夕に向けて立派な笹[🎋]を用意してくださいました。子どもたちはボランティアの皆様と一緒に笹飾りや短冊を作り、それぞれの願いを込めて飾り付けを行いました。校内には少しずつ七夕の雰囲気が広がっています。

そして、明日は4年生の野島体験学習です。キャンドルファイヤーの練習も順調に進み、子どもたちの準備は万端です。

梅雨空が続いていますが、明日は4年生の願いが空に届き、よい天気にも恵まれることを願っています。子どもたちにとって思い出に残る一日になりますように。



【待ちに待ったプール開き！🌊 笑顔あふれる水泳学習】

今日は、今年度初めての水泳学習を行うことができました。

1年生にとっては、小学校で初めてのプールです。前回は水温が低く中止となってしまったため、今日を楽しみにしていた子もたくさんいました。

朝から水温が気になるころでしたが、今日はなんとか基準をクリア。いよいよプールへ向かいました。シャワーでは「つめたーい！」と驚きの声があがりましたが、プールの中に入ると気持ちよさそうな笑顔が広がっていました。

初めてということもあり、着替えや移動に少し時間がかかり、プールに入っている時間は短めでしたが、安全に楽しく活動することができました。次回はさらにスムーズに準備をして、もっとたくさん水に親しめるとよいですね。

続いて4組もプールに入りました。上級生が1・2年生に優しく声をかけたり、準備や移動を手伝ったりする姿が見られ、とても温かな雰囲気の中で活動が行われました。互いを思いやる気持ちが感じられる素敵な時間となりました。

また、4組では花ボランティアの皆様と一緒に花の苗を植え、花壇の手入れも行いました。子どもたちはボランティアの皆様に教えていただきながら、一つひとつ丁寧に苗を植えていました。

おかげで花壇はさらに美しくなり、学校に彩りを添えてくれています。ご協力いただいた花ボランティアの皆様、そして一生懸命活動した4組の皆さんに感謝です。



【学びも遊びも全力で！ 梅雨の晴れ間の学校風景】

梅雨の晴れ間が広がった今日、校内では子どもたちの生き生きとした姿がたくさん見られました。

2年生は、どちらのクラスも図工の学習です。紙を輪っかにつなげながら、冠やベルト、腕輪など、身に付けられるさまざまな小物を作っていました。

完成すると、さっそく身に付けて友達同士で写真撮影。「見て見て！」「かっこいいでしょ！」と、思い思いのポーズを決めながら楽しむ姿が見られました。きっと変身したような気分になったのでしょう。教室いっぱいに笑顔が広がり、気持ちもすっかりノリに乗っていました。

一方、5年生と6年生の教室では算数の学習に取り組んでいました。高学年になると学習内容も難しくなりますが、子どもたちは問題とじっくり向き合いながら集中して考えていました。静かな教室の中に、一人ひとりが真剣に学ぶ空気が感じられました。

そして、ロング昼休み。久しぶりの青空に誘われるように、多くの子どもたちが校庭へ飛び出していきました。鬼ごっこやボール遊びなどを楽しみながら、元気いっぱい体を動かす姿があちらこちらで見られました。

友達と笑い合いながら遊ぶ姿、夢中になって走り回る姿はとても微笑ましく、子どもたちにとって外で思い切り遊べる時間の大切さを改めて感じました。

学習にも遊びにも一生懸命取り組む子どもたち。今日も学校にはたくさんの笑顔があふれていました。



【仲間とともに大きく成長した二日間 4年生 野島宿泊体験学習】

4年生の野島宿泊体験学習は、担任から届いた写真と話をもとに、その様子をお伝えします。

二日間とも素晴らしい天気に恵まれ、日中も気温は 27 度前後と過ごしやすく、宿泊体験学習には絶好のコンディションとなりました。

一日目は、八景島シーパラダイスの水族館を見学しました。色鮮やかな魚や、初めて見るような生き物に目を輝かせ、迫力満点のイルカショーでは歓声を上げながら楽しんでいました。見学後は、仲間とおいしくお弁当を食べ、野島青少年研修センターへ向かいました。

ちりもんモンスターを探せでは、珍しい魚の稚魚を虫メガネを使って夢中になって探していました。

夕食のカレーをおいしくいただいた後は、お楽しみのキャンドルファイヤーです。ダンスや歌、ゲームで大いに盛り上がり、友達と笑い合う時間は、子どもたちにとって忘れられない思い出になったことでしょう。

夜は、興奮が冷めず就寝時間を過ぎてもなかなか寝付けない児童も多かったようですが、翌朝には全員が元気に二日目を迎えることができました。



【学びも交流も笑顔いっぱい！ 昨日の学校の様子】

3年生は、初めての習字に取り組みました。「トン・スー・ピタ」の合言葉を意識しながら、始筆・運筆・終筆の基本を練習しました。慣れない筆遣いに少し緊張した様子も見られましたが、どの子も真剣な表情で筆を運び、一文字一文字を丁寧に書こうと集中していました。

昼休みには、今年度2回目となる「なかよしタイム」を行いました。1年生から6年生までの縦割り班に分かれ、6年生が計画した遊びをみんなで楽しみました。

2回目ということもあり、6年生は進行や声かけにも慣れ、下級生を上手にリードする姿がたくさん見られました。どのグループからも笑顔や歓声が聞こえ、学年を越えた交流がさらに深まったように感じます。

これからも「なかよしタイム」を通して、互いを思いやり、支え合える温かな学校づくりを進めていきたいと思います。



【命を育てる学び 野菜とメダカに親しむ一日】

4組では、育てている野菜の水やりや、新しく植物を植えるための花壇の草取りを行いました。暑さの中での作業でしたが、子どもたちは汗をかきながら一生懸命に活動していました。

作業の途中、「たくさんトマトが採れたら、校長先生にもあげるよ！」と、優しい声をかけてくれた子がいました。その温かな気持ちがとても嬉しく、野菜と一緒に子どもたちの思いやりの心も育っていると感じました。

5年生は、理科の学習でメダカの観察を行うため、廊下に飼育スペースを設けました。水槽の中ではたくさんの卵が生まれ、小さな命の誕生を間近で観察できるようになっています。

子どもたちは「こんなに小さいんだ！」「もう目が見えるよ！」と興味深そうに観察し、命の神秘に触れていました。



野菜を育てることも、メダカを育てることも、命の大切さや成長の喜びを実感できる貴重な学習です。これからも子どもたちには、生き物や植物と関わる体験を通して、優しさや思いやりの心を育んでほしいと思います。

【それぞれの「好き」が輝く クラブ活動が本格スタート！】

今日は、今年度2回目のクラブ活動が行われました。初回は組織づくりや活動計画が中心でしたが、今回はいよいよ本格的な活動のスタートです。

本校には7つのクラブがあり、運動を楽しむクラブや、ものづくりやゲームなどの文化的な活動を行うクラブなど、それぞれ特色ある活動に取り組んでいます。

ぜひ写真をご覧ください、子どもたちが夢中になって活動する様子や、それぞれのクラブの雰囲気を感じていただければと思います。

また、3年生の皆さんは、「来年はどのクラブに入ろうかな」と考えながら写真を見てみてください。



【心に花を咲かせる一日 思いやりを育む学び】

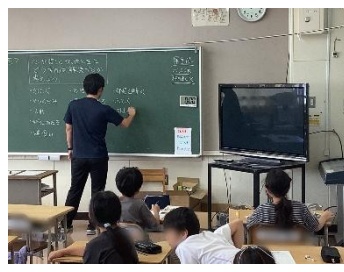
3年2組の道徳では、「にこにこレインボーなクラスにするためにはどうしたらよいか」をテーマに話し合いました。

「どんな言葉をかけたら笑顔になるかな」「困っている友達がいたらどうしよう」など、一人ひとりが笑顔あふれる学級にするための行動を真剣に考え、友達と意見を交流していました。子どもたちの優しい思いがたくさん詰まった時間となりました。

4年生では、「横浜プログラム」に取り組みました。今回は、心が苦しくなったときにどのように気持ちを整理したり、解決したりすればよいのかについて考えました。また、自分がうれしいと感じることと友達がうれしいと感じることは違ってよいことに気づき、お互いの感じ方を認め合う大切さについて学びました。

校庭の花壇では、花ボランティアの皆さんが昨年度挑戦した「種だんご」から、色とりどりの花が咲き始めました。花壇が少しずつ華やかになり、学校を訪れる人たちの心も和ませてくれています。

一方で、花の咲き方にはまだ課題もあり、「もっときれいに咲かせるにはどうしたらよいか」と、花ボランティアの皆さんは研究を続けてくださっています。



【少しずつ広がる学び 1年生の学校生活】

1年生も入学してから約3か月が経ち、小学校生活に少しずつ慣れてきました。教室では、友達と関わりながら、毎日さまざまなことを学んでいます。

1組では道徳の学習を行いました。「友達と気持ちよく話したり、仲よく過ごしたりするためには、どのような言葉かけや態度がよいだろう」と、みんなで考えました。

子どもたちからはたくさんの優しい言葉が出され、友達を思いやる気持ちを育む温かな時間となりました。

2組では国語の学習です。デジタル教科書を活用しながら、アサガオの説明文につながる文章の学習に取り組みました。生活科で毎日お世話をしているアサガオを思い浮かべながら、「葉っぱが大きくなったね」「つぼみができたよ」など、自分たちの経験と結び付けて学ぶことで、より興味をもって学習を進めることができました。



【子どもたちの学びの様子をお届けします】

2年1組の外国語活動では、エリック・カールの『はらぺこあおむし』の英語版ビッグブックを使って学習しました。色や動物の英語に親しみながら、物語の世界を楽しみ、子どもたちは自然と英語の表現に触れていました。

5年1組の社会では、長野県の野辺山原について学習しました。レタス栽培や酪農、観光などが、高地ならではの気候を

生かして営まれていることを学び、「なるほど！」という声も聞かれました。最近ではコナンの映画の舞台としても話題になったことから、子どもたちにも親しみのある土地となっていたようです。

また、来月から始まる体育館の床の張り替え工事に向けて、5・6年生が体育館の備品を運ぶ作業を手伝ってくれました。重い物も友達と協力しながら運び、大変頼もしい姿でした。

作業の最後には、長年親しまれてきた体育館の床へ、それぞれが感謝や思い出を込めたメッセージを書きました。新しい床へと生まれ変わる前の、貴重なひとときとなりました。

10月には、ピカピカに生まれ変わった体育館で、子どもたちが元気いっぱい活動する姿を見られることを、今から楽しみにしています。

